

令和元年度  
2学期終業日

# 学校へ行こう!

椎葉小  
校長室便り

## 良い年をお迎えください

「月日は百代の過客（はくたいのかかく）にして、行きかふ年もまた旅人なり」とは、松尾芭蕉の「奥の細道」の一節。  
「月日は永遠の旅人であり、来ては過ぎゆく年もまた旅人のようなものである」という意味です。

平成31年から令和元年へと移った今年も、あっという間に過ぎようとしています。保育園児だったお子さんが1年生になり、1～5年生だった子どもさんが、ひとつずつ学年を積み重ねてから、9ヶ月が経過しようとしています。

通知表を見ると、できるようになったこと、わかるようになったこと、成長したこと、もうちょっとがんばってほしいこと等が、それぞれのお子さんについて記してあります。

伸び盛りのお子たちですから、良かった部分は大いに認め、課題となった部分も、しっかり受け止め、3学期以降に修正ができるようご協力をお願いいたします。

皆様のご支援・ご協力のおかげで、全児童50名が健やかに令和2年を迎えられることに感謝いたします。

来年は、いよいよ東京オリンピック・パラリンピック開催の年です。椎葉村、椎葉小、保護者、地域の皆さんにおかれましても、良い年になることをお祈りしまして、2学期終了のあいさつといたします。



### 「2学き がんばったこと」

2年 しいば さくや  
わたしが、2学きががんばったことは、文字をていねいに書くことです。

わたしは、ときどき字がざつになることがあるから、気をつけています。

わたしが家に帰った時、しゅくだいプリントの字を見たお母さんが、

「字がきれいに書けているね。」  
とってくれました。だから、わたしは、字をていねいに書くようにがんばりました。

わたしが冬休みにやりたいことは、うんどうです。なわとびやてつぼう、一りん車をたくさんやりたいです。たくさんうんどうをして、うんどうがとくいになりたいです。とくに、わたしは一りん車がにがてなので、がんばってれんしゅうします。

たくさんうんどうして、元気いっぱいの冬休みにしたいです。

### 今朝（12月24日）の子どもたちのひとコマ



## 人間は忘れる動物である？

先日、3年生の学級活動で、「家庭での学習の必要性」を考える授業が行われました。教頭先生と三輪先生が二人組で指導にあたる（いわゆる「チームティ칭ング」）体制で、初めは漢字クイズで緊張をほぐし、次に「学校で学ぶのは、何のため？」について、児童それぞれの考えを聞きました。（将来のため、人の役に立つため、進学するため等、結構興味深い発言がありました。）

読んで字のごとく「学校」は学ぶところ、学ぶのは当たり前と考えている児童ですが、では、「なぜ、（宿題を含めた）家庭学習の必要があるのでしょうか？」。

家庭学習については、様々な考え方がありますが、小学校段階においては、「復習」に重点を置いています。

「国語に限らず教科書を音読する」「テストで間違った問題をもう一度やってみる」「授業を思い出してノートを見直してみる」等の取組により、学んだことを「自分なりに」「忘れないようにする」ことができ、次の学びの習得や活用に役立てることが出来ます。

人は何かを学んだとき、何もしなければ「20分後には42%」を忘れる。「1時間後には56%」「1日後には67%」「1ヶ月（31日）後には79%」も忘れるそうです。（エビングハウスの忘却曲線より）

「そういえば・・・」と、私たち大人も思い当たる節があるような気がしますが、学んだことを忘れないようにするためには、1つの項目について、毎日10分程度復習していけば記憶は復活するらしいです。

3年生にとっては、とてもいい機会だったと思いますし、他の先生方が得意分野を生かし、他の学級で様々な授業ができるきっかけ作りにしたいとも思います。

